

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は登録医の先生方をはじめ、医師会および歯科医師会の皆さまには、多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。

さて、昨年3月より新館が運用開始しました。新館には、喫茶ドトール、焼きたてパン、売店ローソン、熊本城やサクラマチが一望にできる展望レストランがございます。外来受診や入院中の患者さまにご利用いただき大好評でございます。

当院は、「救急医療」と「がん診療」を診療の大きな2つの柱としていますが、新棟には「がん総合治療センター」



院長

たかし たけし
高橋 毅

が新設されました。すべてのがん患者さまに寄り添った、できるだけ低侵襲で優しくきめ細かい、がん診療を提供する体制が整いました。

現在は、手狭となりました「救命救急センター外来」の拡充工事を行っています。引き続きご迷惑をおかけしますが、今年度内には終了する予定でございます。

今年も、登録医の先生方、地域の医療機関の皆さまと共に、熊本県の医療に貢献できますよう努力してまいり所存です。どうぞ宜しく願い申し上げます。



副院長

はしもと のぶろう
橋本 伸朗

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、当院にとりまして「病院創立150周年」、「新外来棟竣工」という記念すべき年でありましたが、「新型コロナウイルス」や「豪雨災害」に翻弄された激動の年でもありました。医科・歯科・施設の皆さまにおかれましては平常と変わらず医療連携に御理解・御協力をいただき、ありがとうございました。例年であれば頻繁に開催されていた相互の連絡会も「3密」を避ける名目で中止になりました。既に多くの学会や会議がWeb開催されているように新たな形式を模索すべきなのかもしれません。いずれに致しましても、このような状況だからこそ、これまで以上に皆さまとの医療連携は密にして、「救急医療」と「がん診療」における当院の役割を果たしてまいりたいと存じます。

今年さらには困難な局面も予想されますが、引き続き患者さまの安全・安心を最優先に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



副院長

ひだか みちひろ
日高 道弘

明けましておめでとうございます。昨年は2月に創立150周年、3月には新館オープンと当院にとっては節目の年でした。しかしその後は新型コロナ感染の波に襲われ、大変厳しい診療状況にも直面しました。情報が乱れ飛び対策も手探りの中、第一線で使命感を持って粛々と職務を遂行するスタッフに支えられた1年でした。皆様の変わらぬご支援にも心から感謝いたします。

本年は従来にも増して、頼りになる病院として指名していただけるよう努めたいと思います。また病院内部にあっては、職員が伸び伸びと仕事ができる環境づくりを心掛けて参りたいと思います。そう遠くないうちにこのコロナ禍が過ぎ去って、皆様と晴れやかに祝杯を挙げられることを心待ちにしています。本年もどうぞよろしく願いいたします。

【特集】

新年のご挨拶

- 院内医学会プログラム
- VOICE
- くまびょう TOPICS

- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿



看護部長

いずみ

泉

さなえ

早苗

新年あけましておめでとうございます。

2020年は全世界的なCOVID-19の大流行に加え、被害の大きな自然災害の発生により、新しい生活様式や働き方、災害への備えを見直すこととなりました。「大変な」時というのは、「大きく変わる」ことが求められています。この困難を乗り越えていくためには、やはり一人ひとりの力を結集することが重要です。地域のなかで「今当院にできること」「今当院に求められていること」を考え、智慧を出し合い、力を出し合い、少しずつ前に進んでいけるよう努力してまいります。そして、地域医療の関係者の皆様と力を合わせることで、阿蘇の大地を悠々と歩む牛のように大地をしっかりと踏みしめながら、2021年を明るい未来へと創造してゆく力に変えていけると信じています。

本年も何卒よろしくお願ひいたします。



事務部長

あねがわ

姉川

としや

俊也

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は当院に対するご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。

コロナ禍での年明けとなりましたが、引き続き気を緩めることのない診療体制を維持し、今年も当院が地域医療連携に貢献できるよう事務部として支えていきたいと思ひます。

また、今年には1年延期となった東京オリンピックが予定どおりに開催されることと、日本選手が活躍することによって全国に活気が戻り、昨年自粛していた様々な行事やイベントが再開され、皆様とのコミュニケーションづくりができるようになることを祈念しております。

本年も何卒よろしくお願ひいたします。



薬剤部長

なかがわ

中川

よしひろ

義浩

新年明けましておめでとうございます。

昨年は臨床薬理セミナーが中止となり、二の丸薬薬連携講演会はWeb開催となりました。熊本県病院薬剤師会、熊本県薬剤師会、熊本市薬剤師会の皆様にはご協力いただきありがとうございました。

今年度から外来でがん化学療法を行っている患者さまへの、連携充実加算算定を開始しています。専任の薬剤師が必要に応じてその他の職種と共同して、抗がん剤の副作用の発現状況を評価するとともに、副作用の発現状況を記載した治療計画等の治療の進捗に関する文書を患者さまに交付しています。レジメン等の薬物療法の情報を共有し、良質で安全な薬物療法が提供できるように連携を深め、相互に情報発信ができるように努めていきたいと思ひます。

熊本の皆様と地域の医療関係者の皆様にとって、良い一年になりますようお祈りいたします。



臨床研究部長

地域医療研修センター長

とみた

富田

まさお

正郎

今年には初詣にもいけず、おせちも個別取分けにし、実家にも行かず、今までとは異なった新年を迎えられておられることと存じます。超忙しい新年を迎えておられるすべての方々に深く敬意を表します。

新しい時代においては各々の病気の治療はどうあるべきか、すべてが新しく、すべての教科書が書き変わる可能性もあり、パラダイムシフトが起きていくでしょう。この激変に対応していかなければなりません。新しい、いわゆる「トリアージ」が必要になることもあるかもしれません。

何をどう優先させ、どう治療するのか、新しい臨床研究・臨床知見、あるいは権威者のオピニオンが必要になりますし、それを伝える勉強会・講習会の形状も新しく変わっていかざるを得ません。

1に健康、2に健康、3、4がなくて5に皆で地域医療を支えて参りましょう。



統括診療部長

みやなり のぶとも
宮成 信友

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、コロナ禍で大変な1年でしたが、今年度もウイズコロナの年で診療にも影響があるものと思われま

す。コロナ禍であるにもかかわらず昨年は2月22日に病院創立150周年記念式典祝賀会を無事開催することができました。また、3月2日には新館の運用が開始され病院としては新たな一歩を踏み出した1年でした。コロナ禍でありながらも皆様のご協力で診療が維持されていることに感謝しております。

今年も昨年と同様に、病院の診療体制が維持・向上できるように努力してまいります。本年もどうぞご支援よろしくお願



地域医療連携室室長

きくかわ ひろあき
菊川 浩明

新年あけましておめでとうございます。

昨年は生活様式まで一変する未曾有の年でした。今年もまだまだ予断を許さない状況ですが、各医療機関の先生方には変わらず多くの患者さまをご紹介頂き感謝申し上げます。お互い顔の見える医療連携を心がけ、各病院が開催される地域医療連携の会に参加し、多くの登録医の先生方と情報交換する機会を得ていましたが、現状ではしばらく無理なようです。代わりに、院内で毎月開催する医療連携会議の中で、登録医の先生方に各医院・病院の紹介をお願いし、ご講演頂くことにしました。当院から転院した患者さまの経過がよくわかり、また新しい医療技術の紹介や診療内容等、わかりやすく解説して頂き参加した当院スタッフにも好評です。講演ご希望の先生方・施設の皆さま、地域医療連携室までご連絡をお願いいたします。今年もどうぞ宜しくお願



救命救急部長 救命救急センター長

はらだ まさひろ
原田 正公

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当院の救命救急センターに格別のご高配をいただき誠にありがとうございます。

昨年は、COVID-19の流行に対する様々な対応に追われた1年であり、現在も予断を許さない状況が続いております。救命救急センターには、COVID-19だけでなく、多くの重症の患者さまが来院されますが、このような状況においても、救命救急センターとしての機能を維持できるよう、病院をあげて様々な取り組みを行ってまいりました。今後もこの取り組みを継続してまいりたいと思います。

また、現在救急外来の拡張工事を行っております。今年度中には工事が完了する見込みです。工事完了後は、二次三次外来が現在の約2倍の床面積となりますので、感染対策の面からもよりよい環境となるのではないかと考えています。

今年も先生方や患者さまから選んでいただける救命救急センターであり続けるよう、全職員を挙げて救命救急医療に取り組んでまいりたいと思います。今年も当センターへのご支援・ご指導のほど賜りますようよろしくお願い申し上げます。



第26回 国立病院機構熊本医療センター医学プログラム

令和3年1月16日(土)

開会の辞

9:30~9:34

高橋 毅(国立病院機構熊本医療センター院長)

一般演題Ⅰ「外科系①」

9:35~10:29

座長:久保田竜生(国立病院機構熊本医療センター外科副部長)

柏木 千穂(国立病院機構熊本医療センター6北病棟看護師長)

- I-1 当院における造血幹細胞移植後の口腔腫瘍に関する臨床的検討
歯科口腔外科¹⁾ 病理診断科²⁾ 衛藤 理¹⁾ 蒲原英恵¹⁾ 中尾美文¹⁾ 中川文雄¹⁾ 早川真奈¹⁾
谷口広祐¹⁾ 武藤礼治²⁾ 村山寿彦²⁾ 中島 健¹⁾
- I-2 急性硬膜下血腫に対する穿頭血腫ドレナージ術の有用性
脳神経外科¹⁾ 宮崎愛里¹⁾ 中川隆志¹⁾ 松浦 任²⁾ 武末吉広¹⁾ 大塚忠弘¹⁾
熊本大学病院 脳神経外科²⁾
- I-3 当院で直近10年間に於いて治療した重度下肢開放骨折の治療成績
整形外科 宮崎誠大 中馬東彦 福元哲也
- I-4 浮動性めまいを主訴とした外傷性脳脊髄液減少症の一例
耳鼻いんこう科 竹本梨紗 上村尚樹
- I-5 絞扼性腸閉塞による腸管壊死の術前予測因子の検討
外科¹⁾ 金光紘介¹⁾ 小澄敬祐¹⁾ 田尻拓哉¹⁾ 武末 亨¹⁾ 美馬浩介¹⁾ 井上光弘¹⁾
熊本大学大学院 消化器外科学²⁾ 水元孝郎¹⁾ 久保田竜生¹⁾ 宮成信友¹⁾ 馬場秀夫²⁾
- I-6 遊離広背筋皮弁により再建した坐骨部褥瘡の2例
形成外科 前山 徹 東野哲志 大島秀男

一般演題Ⅱ「看護部・看護学校」

10:30~11:24

座長:田中富美子(国立病院機構熊本医療センター地域医療連携係長)

吉竹 あゆ(国立病院機構熊本医療センター附属看護学校教員)

- II-1 慢性硬膜下血腫を発症した患者の術後せん妄発症状況と関連因子の実態
看護部7北病棟 宮崎麻美 上田緋沙美 東 理恵 押川妃二美
- II-2 精神科病棟に勤務する1~3年目看護師のコミュニケーションの現状
看護部7南病棟 金子裕香 志水直子
- II-3 中期キャリアにある中堅看護師のキャリア発達に対する認識
看護師長研究会 榊原チハル 池田としえ
- II-4 人工呼吸器管理を行う重症患者の鎮痛に関する看護師の認識
救命救急センター 日野みつ子 沖田典子 甲斐 彰 亀田龍熙 中原史朋梨
- II-5 診察待ち時間調査による現状分析
看護部外来 山邊陽子 森 マキ 矢住 梓 岩本 愛 田平佳苗 森山ひろみ
- II-6 ジグソー法を取り入れた授業における学生の学びと今後の課題
附属看護学校 東垂水朋子 竹内佐代子 黒木智鶴

一般演題Ⅲ「コメディカル①・事務・外科系②」

11:25~12:28

座長:佐々木幸作(国立病院機構熊本医療センター副薬剤部長)

出良 和之(国立病院機構熊本医療センター事務部管理課長)

- III-1 脳卒中患者の早期作業療法の客観的効果判定の取り組み~Pusher現象に対する評価について~
リハビリテーション科¹⁾ 園川 卓¹⁾ 鬼塚由大¹⁾ 田中正則¹⁾ 幸崎弥之助²⁾ 中馬東彦¹⁾
脳神経内科²⁾ 福元哲也¹⁾
- III-2 周術期の薬学的管理の現状と展望
薬剤部 水町純一 坂田光平 浮池香奈子 花田聖典 井上大奨 中川義浩
- III-3 治験センターにおける逸脱事例調査
治験センター¹⁾ 薬剤部²⁾ 宮本聖子¹⁾ 白澤宏美¹⁾ 齊田翌美¹⁾ 市下由美¹⁾ 吉井 薫¹⁾
臨床研究部³⁾ 宮本美穂¹⁾ 正代敦子¹⁾ 中川義浩²⁾ 富田正郎³⁾
- III-4 MRCP検査における呼吸センサーの最適配置位置の検討
診療放射線科 西 祥吾 深松昌博

- Ⅲ-5 急性期精神科病棟患者の入院時における栄養摂取状況及び栄養状態の現状
栄養管理室 柴田千尋 加來正之 深水綾菜 四元有吏
- Ⅲ-6 給与支給業務効率化による長時間労働是正に向けた取り組み
事務部管理課 窪田真莉絵 姉川俊也 出良和之 有馬義弘 落合敦也 松岡さゆり
- Ⅲ-7 大腸癌緊急手術症例における術前生活自立度での周術期および予後の検討
外科 田尻拓哉 小澄敬祐 金光紘介 武末 亨 美馬浩介 井上光弘
水元孝郎 久保田竜生 宮成信友

昼 食 (12:28~13:11)

一般演題Ⅳ「内科系」

13:11~14:14

座長：清川 哲志 先生（朝日野総合病院 院長補佐）

池田としえ（国立病院機構熊本医療センター 6 東病棟看護師長）

- Ⅳ-1 意識障害が目立った重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の一例
総合診療科¹⁾ 感染症内科²⁾ 血液内科³⁾ 上村直道¹⁾ 國友耕太郎¹⁾ 辻 隆宏¹⁾ 小野 宏²⁾ 平野太一³⁾
- Ⅳ-2 急性心不全をきたした自己免疫性溶血性貧血の一例
血液内科 坂田宗一郎 今金大輔 河北敏郎 日高道弘
- Ⅳ-3 t(3:7)を有する急性骨髄性白血病の一例
血液内科 高橋えりか 窪田 晃 村田克美 今金大輔 平野太一 三井士和
河北敏郎 井上佳子 榮 達智 原田奈穂子 日高道弘
- Ⅳ-4 胆管内乳頭状腫瘍（IPNB）の3例
消化器内科¹⁾ 外科²⁾ 病理診断科³⁾ 上野茂紀¹⁾ 杉 和洋¹⁾ 中田成紀¹⁾ 石井将太郎¹⁾ 松山太一¹⁾ 東 哲生¹⁾
志茂田美紀¹⁾ 馬見塚大悟¹⁾ 宮成信友²⁾ 久保田竜生²⁾ 水元孝郎²⁾
村山寿彦³⁾ 武藤礼治³⁾
- Ⅳ-5 縦隔転移をきたした肝細胞癌の1例
消化器内科¹⁾ 放射線科²⁾ 病理診断科³⁾ 馬見塚大悟¹⁾ 志茂田美紀¹⁾ 上野茂紀¹⁾ 東 哲生¹⁾
松山太一¹⁾ 石井将太郎¹⁾ 中田成紀¹⁾ 杉 和洋¹⁾
吉松俊治²⁾ 武藤礼治³⁾ 村山寿彦³⁾
- Ⅳ-6 播種型猫ひっかき病の1例
皮膚科¹⁾ 感染症内科・呼吸器内科²⁾ 耳鼻いんこう科³⁾ 小林温子¹⁾ 小野 宏²⁾ 竹本梨紗³⁾ 牧野公治¹⁾
- Ⅳ-7 7階南病棟へ入院となったアルコール関連疾患症例の検討
精神科 荻野 肅 的場祐二 森並次朗 落合 翔 橋本 聡
濱野 学 服部 耀 佐々木主一 竹下喜代美 山下建昭

一般演題Ⅴ「腎泌尿器・コメディカル②・救急・集中治療」

14:15~15:00

座長：高橋 渡 先生（健軍熊本泌尿器科 院長）

沖田 典子（国立病院機構熊本医療センター 6 西病棟看護師長）

- V-1 著明な白血球増加をきたした尿管管遺残の1例
腎臓内科¹⁾ 血液内科²⁾ 病理診断科³⁾ 中村 尋¹⁾ 富田正郎¹⁾ 中村朋文¹⁾ 三井士和²⁾ 平野太一³⁾
武藤礼治³⁾ 梶原健吾¹⁾ 河北敏郎²⁾
- V-2 当院におけるアミノレプリン酸を用いた光力学診断補助下TUR-BTの初期経験
泌尿器科 山中達郎 前田喜寛 近浦慶太 鮫島智洋 銘苅晋吾 矢野大輔
菊川浩明
- V-3 「熊本型」へり救急搬送体制の現状と当院の活動
救命救急・集中治療部 山田 周 松尾僚太 中嶋美佳 富永啓史 出口恵美 松尾悠史
深水浩之 渋沢崇行 清水千華子 北田真己 櫻井聖大 木村文彦
原田正公 高橋 毅
- V-4 血球貪食症候群に起因する後腹膜血腫に対して集学的治療で止血に成功した1例
救命救急・集中治療部 渋沢崇行 清水千華子 深水浩之 松尾悠史 山田 周 北田真己
櫻井聖大 原田正公 高橋 毅
- V-5 CHDF回路変更に伴う透析膜1本あたりの抗凝固剤平均稼働時間の比較
臨床工学技士 久原亮希 山口翔史 清元 玲 松下尚暉 森永良和 佐藤朋哉
竹本勇介 新木信裕 田代博嵩

総評・閉会の辞

15:00~15:05

日高 道弘（国立病院機構熊本医療センター副院長）

VOICE

登録医の声



医療法人社団 谷口会
歯科ホワイトピアノ

いでした まさや
院長 出下 雅也



◆貴院のアピールをお願いします

当院では、お子様からご高齢の方まで、幅広く診療しています。歯科器具の滅菌、患者さまごとのユニットの消毒、治療ごとに新しい手袋の使用を徹底しており、感染対策に努めています。

また、各ユニットに口腔外バキュームを設置し、飛沫感染を防いでいます。キッズスペースがありますので、お子様連れの方も安心してご来院ください。

親知らずの抜歯やインプラント治療などの際は、歯科用CT撮影を行い、正確な診断をしてから、治療を行っています。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

スポーツ観戦が趣味の一つです。

特に野球観戦が好きで、ソフトバンクホークスを応援しています。イチオシ選手は、柳田悠岐選手です。

おすすめスポットは、北区下硯川町にあるナチュラルコーヒーさんです。スリランカカレーとコーヒーのセットがオススメです。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

口腔内の腫瘍や、複雑な抜歯など様々な症例の患者さまの紹介を快く引き受けて頂き、とても感謝しています。紹介後の治療経過の報告も丁寧で、その後の患者さまへの対応もスムーズに行うことが出来ています。これからもよろしくをお願いします！

【診療科目】

歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科

【診療受付時間】

月～金 9:00～12:30

月～金 14:30～18:30

土 曜 9:00～13:00

【休診日】

土曜午後・日曜・祝日

【住所】

〒861-8081 熊本県熊本市北区麻生田 2丁目 4-20

【TEL】

096-338-1802

【FAX】

096-338-1802



第16回 JICA 理事長賞を受賞しました

～国際医療協力：発展途上国における集団研修「包括的ウイルス肝炎対策」25年間の活動～

2020年10月15日に第16回独立行政法人国際協力機構（JICA）理事長賞表彰式が執り行われました。例年東京都新宿区にあるJICA市ヶ谷ビル国際会議場で開催されますが、今回は新型コロナウイルス感染対策により、Zoom ウェビナーによるオンライン開催でした。これまでに当院では2017年に河野文夫名誉院長が第13回「JICA 国際協力感謝賞」を受賞されています。「JICA 理事長賞」は国際協力事業を通じて開発途上国の人材育成や社会・経済発展に多大な貢献をした国内外の個人・団体に授与されます。今年度は48個人・団体が受賞しました。北岡伸一理事長の挨拶に引き続き、オンライン形式で受賞者ごとの紹介があり、代表して神戸市看護大学南裕子学長、広島大学大学院馬場卓也教授（以上個人）、国立感染症研究所協



田隆宇所長（団体）の受賞記念スピーチで終了しました。表彰状は授賞式後の10月30日にJICA九州植村吏香所長が当院にお越しになり直々授与されました。

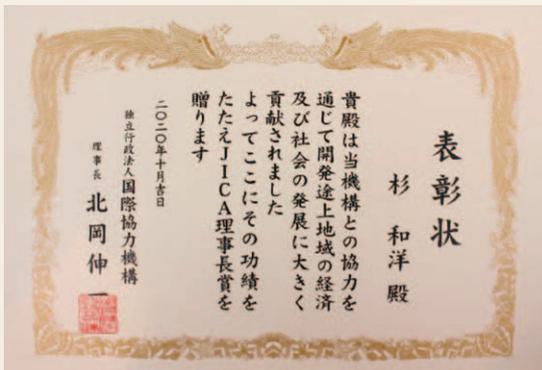
私は専門分野である肝臓病、とりわけウイルス肝炎ならびにそれに伴う肝硬変および肝がんに関して25年間にわたり発展途上国の研修生とともに時代を過ごしてきました。その間にはC型肝炎の発見と疫学の解明、診断と治療の進歩があり、95%以上が治癒するまでになっています。B型肝炎に関しても世界的な遺伝子型の分布と病態の解明、母子感染のみならず出生後の水平感染予防、抗ウイルス治療の進歩、化学療法や免疫抑制療法に伴う再活性化の病態解明と治療の進歩があります。さらには肝炎患者拾い上げ、検査、治療および治療後のフォローアップにおける行政の取組みなど、集団研修指導を行いながら研修員と一緒にこれらを学ぶことができました。心の底から素晴らしい経験ができたことに感謝いたします。

この受賞にあたり、当院での国際協力の基礎を築かれた蟻田功名名誉院長、研修コースを立ち上げられた河野文夫前院長ならびに今回受賞の機会を与えていただいた高橋毅現院長、前コースリーダーを務められ直接ご指導いただいた故木村圭志先生をはじめ、研修に協力いただいた消化器内科スタッフ、各部門ならびに歴代の講師および研修施設の皆様にも心より感謝申し上げます。また、今回の受賞に際して推薦していただいたJICA九州およびJICAエジプト事務所、JICA本部人間開発部の皆様にも改めて御礼申し上げます。

最後に、2030年の世界的なウイルス肝炎掃滅を目指してJICAとともに肝炎対策の強化に尽力したいと思います。



診療部長・消化器内科部長
杉 和洋
Kazuhiro Sugi



【JICA九州ホームページより転載】

受賞個人 / 団体名	受賞理由
国立病院機構熊本医療センター 診療部長・消化器内科部長 杉 和洋（すぎ かずひろ）様	杉様は、25年以上にわたり、肝炎を中心とした感染症対策分野でのJICA事業に貢献されました。 ・特に、エジプトでは帰国研修員を中心とした活動により肝炎対策の基盤が形成され、WHOが推進する2030年までのエジプトでのC型肝炎排除に向けて寄与されました。

研修医レポート

臨床研修医

古閑 将史
こが まさし



こんにちは。研修医1年目の古閑将史と申します。宮崎大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせていただき早6カ月が経ちました。私はまず麻酔科から研修をスタートさせ代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、現在は外科を回っています。最初は右も左も分からず毎日が緊張と不安の中での日々でしたが、半年間なんとか研修生活を送れているのは先生方や看護師の方々、その他スタッフの方々のご指導のおかげだと思っています。周りのスタッフの見守りのおかげで実践的な研修をさせて頂き、もともと不器用な自分ですが研修期間を経るごとに出来る事が増え、視野も広がっているのを実感しています。以前出

来なかったことが出来るようになり少しだけ人の役に立てた時は凄く嬉しい気持ちと達成感、患者さまに感謝の言葉を頂いた時には仕事の喜びを知ることができました。それと同時に自分の出来なさに打ちのめされ落ち込む日も多く、仕事の厳しさを痛感した半年間でもありました。今現在はどうしたら出来るようになるのか、もっと動けるようになるのかを考え、手探りしながらもがいている道中です。1つはつきりしているのは何事にも近道はなく、成長するには経験と努力を積み重ねていくしかないということ、そう考えて毎日の業務ひとつひとつを大切にしながら励んでいます。

熊本医療センターには仕事熱心な先生方やスタッフの方々が多く、どの科を回ってもロールモデルに事欠きません。また2年目の研修医の先生方もとても優秀で常に刺激を受けながら高いモチベーションを維持して研修ができていることに充実感を感じています。

まだまだ分からないことが多くこれから行く先々でご迷惑をおかけすることになると思います。やる気と学ぶ意欲は強く持っていますので今後もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

臨床研修医

大塚 駿太
おおつか しゅんた



こんにちは。研修医1年目の大塚駿太と申します。熊本大学を卒業して熊本医療センターでの初期臨床研修をさせていただいています。社会人として早いものでもう半年が経とうとしています。初めての一人暮らしなど新生活にも慣れてきて、少しずつではありますが仕事にも慣れてきたと感じています。現在麻酔科で研修をさせていただいています。麻酔科ではルート確保や気管挿管、脊髄くも膜下麻酔などの手技をはじめとし、循環や呼吸の管理についてご指導いただいています。最初はモニターばかり見ていましたが、胸郭の動きや顔色など患者さまを観察することの大切さも学ばせていただいています。

精神科を回らせていただきました。それぞれの科で行う手技の違いがあり、科が変わることについていくのに精一杯ですが、先生方に時には厳しくも丁寧に指導いただき多くのことを学ばせていただいています。

研修の始まりはコロナが感染拡大している時期で、仕事以外の場での同期や先輩方との交流も例年と比べると少なかったと思います。しかし、同期をはじめ2年目の先輩方、指導医の先生方に恵まれ、オンオフをはっきりとし楽しく充実した毎日を送らせていただいています。

先日は来年度のマッチングの結果が発表され、あと半年で後輩ができるのかと今から楽しみでもあり、先輩として指導していくことに不安も感じています。これからも気を緩めることなく学びを深めていけたらと思います。

これからも様々な科で研修をさせていただく中で、一つ一つの手技や学びを積み重ねて少しでも医師として成長しお役に立てるように精進していきたいと思っています。

ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

他にも半年間で循環器内科や外科、小児科、産婦人科、

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2021
1月

研修日程表

研修日程表への問い合わせはこちら
 国立病院機構熊本医療センター
 地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
 QRコード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ（<https://kumamoto.hosp.go.jp>）をご参照ください。

1月	研修センターホール	研 修 室
1日（金）		
2日（土）		
3日（日）		
4日（月）		
5日（火）		
6日（水）		
7日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
8日（金）		
9日（土）		
10日（日）		
11日（月）		
12日（火）		
13日（水）	17：30～18：30 第126回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルパス研究会	
14日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
15日（金）		
16日（土）	8：50～15：00 第26回 国立病院機構熊本医療センター医学会	
17日（日）		
18日（月）		19：00～20：00 第263回 月曜会（内科症例検討会）（研修室2） [日本医師会生涯教育講座1.0単位認定] 1. 腎臓内科からの一例 2. 腫瘍内科からの一例
19日（火）		
20日（水）		
21日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
22日（金）		
23日（土）		
24日（日）		
25日（月）		
26日（火）		19：00～21：00 小児科火曜会（研修室1）【Web配信あり】
27日（水）	19：00～20：30 第141回 総合症例検討会（CPC） [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 「神経内分泌癌の治療中に進行性の肩、上肢痛をきたした60代男性」	
28日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
29日（金）		
30日（土）	15：00～17：30 第38回 診断と治療 -最新の基礎公開講座-【Web配信あり】 「グレード毎のCKD戦略」 [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定] 座長 宮本外科・消化器内科 院長 宮本 大典 先生 (1) G1、G2の治療戦略 国立病院機構熊本医療センター腎臓内科医師 中村 朋文 (2) G3、G4の治療戦略 熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学講座特任准教授 泉 裕一郎 先生 (3) G5の治療戦略 国立病院機構熊本医療センター腎臓内科部長 梶原 健吾	
31日（日）		

※新型コロナウイルス感染拡大状況により予定が変更になる場合がございます。
 最新の情報につきましては、ホームページでご確認をお願い致します。

患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話 **096-353-6693**
 直通 FAX 096-323-7601
 受付 平日 8：30～17：00

熊本医療センター
 地域医療連携室副室長
 とみたか えつし
 富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

令和3年1月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎	
	血液	河北 敏郎 平野 太一	原田 奈穂子 三井 土和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 小林 由佳(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	小野 宏 (午前紹介/院内コンサルト)原 英記	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	伊達 亮佑	中村 朋文	松永 英士	富田 正郎	
	腫瘍内科	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 上野 茂紀	杉 和洋 中田 成紀 東 哲生	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 東 哲生	上野 茂紀 中田 成紀 馬見塚 大悟	
	内視鏡	午前	中田 志茂田 (東)	松山 馬見塚	松山 上野	中田 馬見塚 志茂田	石井 東 (志茂田)
		午後	東 志茂田 馬見塚 (中田)	石井 松山 志茂田 馬見塚	中田 東 上野 (松山)	中田 上野 馬見塚 (石井)	石井 松山 志茂田
腹部超音波	杉 東 馬見塚	石井 上野 志茂田	中田 東 馬見塚	石井 上野 (志茂田)	杉 松山 志茂田		
心臓血管センター (循環器内科) (心臓血管外科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 日下 木村(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週新患) 野津原 淳(隔週新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	大塚 康弘 野津原 淳 藤本 和輝(新患)	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)	
	手術日		岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	大湖 一太	山下 建昭	
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡	
小児科	診察	水上 智之 吉田 敬伸	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 吉田 敬伸	
	免疫	水上 智之		水上 智之			
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	坂本 悠樹	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科) (脳神経内科)	大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里		
	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元		
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 平井 拳博	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 平井 拳博		前田 智 満瀬 葉介		中馬 東彦 宮崎 誠大	
泌尿器科	前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘刈 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 矢野 大輔		
産婦人科	高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	担当医	上村 尚樹 竹本 梨紗		
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	小林 温子	西 葉月	島田 秀一	
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 小林 温子	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 小林 温子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一	
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 前山 徹	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹		
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、松本 忠士					
	画像診断	吉松 俊治、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、柏木 寧、幸村 紘子					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 田中 健一 (麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科		中島 健、谷口 広祐、早川 真奈、中尾 美文			中川 文雄	中川 文雄	
救命救急センター		原田 正公、北田 真己、櫻井 聖大、渋沢 崇行、清水 千華子 山田 周、橋本 聡、深水 浩之、松尾 悠史				宮内 大介	
	国友 耕太郎		木村 文彦				
看護外来	ストーマ	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師		
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師		
	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師 他		
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。 R3/1/1